

各関係機関長 殿

岡山県病虫害防除所長

病虫害発生予察情報の発表

病虫害発生予察特殊報第 3 号を下記のとおり発表したので送付します。

令和 4 年度病虫害発生予察特殊報第 3 号

令和 4 年 6 月 27 日
岡 山 県

1. 病虫害名 トマト黄化葉巻ウイルス
2. 病原ウイルス *Tomato yellow leaf curl virus* (TYLCV)
3. 発生作物名 リンドウ
4. 特殊報の内容 岡山県でリンドウにTYLCVの初発生を確認
5. 初発生確認日 令和 4 年 6 月 8 日
6. 発生確認場所 岡山県南部
7. 発生面積 1.5 a
8. 発生の経緯

令和 4 年 6 月に岡山県南部の露地リンドウ圃場において、株の矮化および新葉の波打ち症状（写真 1、2）がみられた。当所においてイムノクロマト法およびPCR法による診断を行ったところ、トマト黄化葉巻ウイルス（TYLCV）が検出されたことから、TYLCVによる病害と判断した。これまで本県においては、トマト、トルコギキョウでTYLCVの発生が確認されており、リンドウでは初発生となる。リンドウにおけるTYLCVの発生は、福岡県で報告されている。

9. 本病の特徴

(1) 病徴

新葉は波打ち、ねじれ症状や葉巻症状、および黄化を呈す。また、上位節間が短縮し、株が矮化する。

(2) 伝染経路

本ウイルスは、タバココナジラミの吸汁によって媒介される。タバココナジラミが罹病植物を吸汁することにより本ウイルスを獲得し、一度ウイルスを獲得したタバココナジラミは終生ウイルスを伝搬する。なお、経卵伝染、土壌伝染、種子伝染はせず、管理作業による汁液伝染の可能性も低いとされている。

10. 防除対策および参考事項

- (1) 発病株は感染源となるため、早急に抜き取り、圃場外に持ち出し、適切に処分する。
- (2) 圃場内や周辺の雑草は、媒介虫であるタバココナジラミの増殖の場となるため、除草を徹底する。
- (3) 本ウイルスに対する登録農薬はないので、媒介虫であるタバココナジラミの防除を徹底する。なお、薬剤の使用にあたっては、コナジラミ類に登録のある農薬を散布する。また、薬剤抵抗性の発達を防ぐため、同一系統薬剤の連用を避ける。



写真1 圃場における発病株
(株の矮化症状)

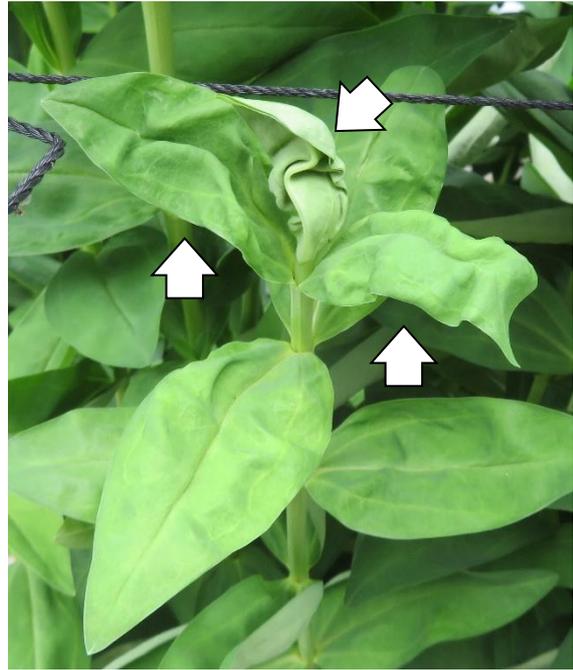


写真2 新葉の波打ち症状

この情報は、岡山県病害虫防除所ホームページでも公開しています。
アドレスは、http://www.pref.okayama.jp/soshiki/kakuka.html?sec_sec1=239

